

業 務 委 託 設 計 書								
年 度	令 和 5 年 度				配水及び給水費・建設改良事業費			
工 事 番 号	第 号	技 術 管 理 者		設 計 者		精 算 者	設 計 年 月 日	令 和 4 年 12 月 16 日
着 工 番 号	第 号						精 算 年 月 日	令 和 4 年 月 日
施 行 理 由								
施 工 場 所	明 石 市 水 道 事 業 給 水 区 域				施 工 方 法 及 び 工 事 期 間	単 価 契 約 日 間 令 和 5 年 3 月 31 日 ま で		
業 務 委 託 名 称	漏 水 修 繕 等 工 事 業 務 委 託 (単 価 契 約)				支 払 方 法	前 払 金	な し	
						部 分 払	な し	
委 託 概 要	1. 漏 水 修 繕 等 工 事 業 務				各 種 材 料 単 価 表			
	2. 給 水 装 置 整 備 工 事 業 務				配 水 管 修 繕 ・ 布 設 工 事 費 単 価 表			
	3. 小 規 模 配 水 管 移 設 工 事				給 水 管 修 繕 ・ 布 設 工 事 費 単 価 表			
					土 工 事 費 単 価 表			
					旧 公 道 撤 去 費			
当 初 設 計 金 額	円	消 費 税 相 当 額	円	当 初 請 負 金 額	円	消 費 税 相 当 額	円	
変 更 設 計 金 額	円	消 費 税 相 当 額	円	変 更 請 負 金 額	円	消 費 税 相 当 額	円	
増 減	円	増 減	円	増 減	円	増 減	円	

総 括 書

費目・工種	名 称	形 質 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	摘 要
委託費							
	漏水修繕工事等業務委託						
	各種材料単価計		1.0	式			
	配水管修繕・布設工事費単価計		1.0	式			
	給水管修繕・布設工事費単価計		1.0	式			
	土工等単価計		1.0	式			
	旧公道撤去費計		1.0	式			
	業務委託費設計単価合計						
	税込						
	税額						

令和5年度

漏水修繕等工事業務委託

単価契約単価表

明石市水道局

漏水修繕等工事業務委託 単価集計書

(消費税抜き)

① 材料単価 合計	
② 配水管修繕工事単価 合計	
③ 給水管修繕工事単価 合計	
④ 土工等単価 合計	
⑤ 旧公道撤去費 合計	
設計単価総計	

令和5年度 漏水修繕工事等業務委託	
内訳 ※漏水修繕業務	700件
※旧公道撤去業務	200件
※給配水管移設・消火栓修繕業務等	200件
※給水装置整備工事業務	500件

材料単価表

品名	規格・寸法	単位	単価
(H・I)	13m/m	m	
ハイパ°外ハイ°	16m/m	〃	
	20m/m	〃	
	25m/m	〃	
	30m/m	〃	
	40m/m	〃	
	50m/m	〃	
	75m/m	〃	
	100m/m	〃	
	150m/m	〃	
(H・I)	13m/m	個	
TSエルボ°	16m/m	〃	
	20m/m	〃	
	25m/m	〃	
	30m/m	〃	
	40m/m	〃	
	50m/m	〃	
	75m/m	〃	
	100m/m	〃	
	150m/m	〃	
(H・I)	13m/m	個	
TS 45° エルボ°	16m/m	〃	
	20m/m	〃	
	25m/m	〃	
	30m/m	〃	
	40m/m	〃	
	50m/m	〃	
(H・I)	13m/m	個	
TSチーヌ°	16m/m	〃	
	20m/m	〃	
	25m/m	〃	
	30m/m	〃	
	40m/m	〃	
	50m/m	〃	
	75m/m	〃	
	100m/m	〃	
	150m/m	〃	
(H・I)	13m/m	個	
ハルソケット(メタル入り)	16m/m	〃	
	20m/m	〃	
	25m/m	〃	
	30m/m	〃	
	40m/m	〃	
	50m/m	〃	
	75m/m	〃	
	100m/m	〃	
(H・I)	13m/m	個	
TSキャップ°	16m/m	〃	
	20m/m	〃	
	25m/m	〃	
	30m/m	〃	
	40m/m	〃	
	50m/m	〃	
	75m/m	〃	
	100m/m	〃	
	150m/m	〃	

材料単価表

品名	規格・寸法	単位	単価
(H・I)	13m/m	個	
TSソケット	16m/m	〃	
	20m/m	〃	
	25m/m	〃	
	30m/m	〃	
	40m/m	〃	
	50m/m	〃	
	75m/m	〃	
	100m/m	〃	
	150m/m	〃	
(H・I)	13m/m	個	
ソケット(インサート付)	20m/m	〃	
	25m/m	〃	
(H・I)	16 × 13	個	
TS異径チース	20 × 13	〃	
	20 × 16	〃	
	25 × 13	〃	
	25 × 16	〃	
	25 × 20	〃	
	30 × 13	〃	
	30 × 16	〃	
	30 × 20	〃	
	30 × 25	〃	
	40 × 13	〃	
	40 × 16	〃	
	40 × 20	〃	
	40 × 25	〃	
	40 × 30	〃	
	50 × 13	〃	
	50 × 16	〃	
	50 × 20	〃	
	50 × 25	〃	
	50 × 30	〃	
	50 × 40	〃	
	75 × 40	〃	
75 × 50	〃		
100 × 50	〃		
100 × 75	〃		
150 × 75	〃		
150 × 100	〃		
(H・I)	16 × 13	個	
TS異径ソケット	20 × 13	〃	
	20 × 16	〃	
	25 × 13	〃	
	25 × 16	〃	
	25 × 20	〃	
	30 × 13	〃	
	30 × 20	〃	
	30 × 25	〃	
	40 × 20	〃	
	40 × 25	〃	
	40 × 30	〃	
	50 × 20	〃	
	50 × 25	〃	
	50 × 40	〃	
	75 × 50	〃	
	100 × 75	〃	
150 × 100	〃		

材料単価表

品名	規格・寸法	単位	単価
(H・I)	20×13	個	
TS異径エルボ	20×16	〃	
	25×13	〃	
	25×20	〃	
水道用軟質ポリエチレン管	13m/m	m	
	20m/m	〃	
	25m/m	〃	
	30m/m	〃	
	40m/m	〃	
	50m/m	〃	
P.Pエルボ(B型)	13m/m	個	
	20m/m	〃	
	25m/m	〃	
	30m/m	〃	
	40m/m	〃	
	50m/m	〃	
P.Pユニオンエルボ	13m/m	個	
	20m/m	〃	
	25m/m	〃	
	30m/m	〃	
	40m/m	〃	
	50m/m	〃	
P.Pソケット(B型)	13m/m	個	
	20m/m	〃	
	25m/m	〃	
	30m/m	〃	
	40m/m	〃	
	50m/m	〃	
P.Pメータ用 ジョイント(B型)	13m/m	個	
	20m/m	〃	
	25m/m	〃	
	30m/m	〃	
	40m/m	〃	
	50m/m	〃	
保温チューブ	13m/m	m	
	20m/m	〃	
	25m/m	〃	
	30m/m	〃	
	40m/m	〃	
	50m/m	〃	
	75m/m	〃	
	100m/m	〃	
GP用テーパージョイント	13m/m	個	
	20m/m	〃	
	25m/m	〃	
	30m/m	〃	
	40m/m	〃	
	50m/m	〃	
VP用伸縮継手 (鋼管用オネジ)	13m/m	個	
	20m/m	〃	
	25m/m	〃	
	30m/m	〃	
	40m/m	〃	
	50m/m	〃	

材料単価表

品名	規格・寸法	単位	単価
VP用伸縮継手 (鋼管用メネジ)	13m/m	個	
	20m/m	〃	
	25m/m	〃	
	30m/m	〃	
	40m/m	〃	
	50m/m	〃	
VP用伸縮継手 (ポリエチレン管用)	13m/m	個	
	20m/m	〃	
	25m/m	〃	
	30m/m	〃	
	40m/m	〃	
	50m/m	〃	
VP用伸縮継手(メータ用)	13m/m	個	
	20m/m	〃	
	25m/m	〃	
	30m/m	〃	
	40m/m	〃	
	50m/m	〃	
VPメータ用テーパユニオン	13m/m	個	
	20m/m	〃	
	25m/m	〃	
	30m/m	〃	
	40m/m	〃	
	50m/m	〃	
補修用バルブ	13m/m	個	
	16m/m	〃	
	20m/m	〃	
	25m/m	〃	
	30m/m	〃	
	40m/m	〃	
	50m/m	〃	
不断水コア	13m/m	個	
	16m/m	〃	
	20m/m	〃	
	25m/m	〃	
	30m/m	〃	
	40m/m	〃	
	50m/m	〃	
MCユニオン(塩ビ管用)	13 ナット式	個	
	16 ナット式	〃	
	20 ナット式	〃	
	25 ナット式	〃	
	30 ナット式	〃	
	40 ナット式	〃	
	50 ナット式	〃	
MCユニオン(塩ビ管用)	30 ギボルト式	個	
	40 ギボルト式	〃	
	50 ギボルト式	〃	
	75 ギボルト式	〃	
	100 ギボルト式	〃	
	150 ギボルト式	〃	
異種管MCユニオン	13×15A	個	
	20×20A	〃	
	25×25A	〃	
	13×13L	〃	
	20×20L	〃	
	25×25L	〃	

材料単価表

品名	規格・寸法	単位	単価
SKジョイント	13m/m	個	
	16m/m	〃	
	20m/m	〃	
	25m/m	〃	
	30m/m	〃	
	40m/m	〃	
	50m/m	〃	
	75m/m	〃	
	100m/m	〃	
SKジョイント(ロング)	13m/m	個	
	16m/m	〃	
	20m/m	〃	
	25m/m	〃	
	30m/m	〃	
	40m/m	〃	
	50m/m	〃	
CKジョイント ロック付(ソケット)	13m/m	個	
	20m/m	〃	
	25m/m	〃	
	30m/m	〃	
	40m/m	〃	
	50m/m	〃	
	75m/m	〃	
CKジョイント ロック付(ロングソケット)	13m/m	個	
	20m/m	〃	
	25m/m	〃	
	30m/m	〃	
	40m/m	〃	
	50m/m	〃	
CKジョイント 塩ビ管専用部品セット (CKMA-Hiロック用)	25m/m	組	
	30m/m	〃	
鉛管用継手 (SPリード)	13m/m	個	
	20m/m	〃	
	25m/m	〃	
補修用クランプ ステンレス製 (株式会社日邦バルブ社製)	13m/m 幅100mm	個	
	20m/m 幅100mm	〃	
	25m/m 幅100mm	〃	
	30m/m 幅100mm	〃	
	40m/m 幅100mm	〃	
	50m/m 幅100mm	〃	
	75m/m 幅200mm	〃	
	100m/m 幅200mm	〃	
150m/m 幅200mm	〃		
フクロジョイント TH-60 (塩ビ管ソケット用)	40m/m	個	
	50m/m	〃	
	75m/m	〃	
	100m/m	〃	
	150m/m	〃	
フクロジョイント TH-60T (塩ビ管チース用)	40×40	個	
	50×40	〃	
	50×50	〃	
	75×40	〃	
	75×50	〃	
	75×75	〃	
	100×40	〃	
	100×50	〃	
	100×75	〃	
	100×100	〃	
	150×75	〃	
150×100	〃		

材料単価表

品名	規格・寸法	単位	単価
フクロジョイント	40m/m	個	
TH-60E	50m/m	〃	
(塩ビ管エルボ用)	75m/m	〃	
	100m/m	〃	
ヤブジョイント	75m/m	個	
(鑄鉄管直管部)	100m/m	〃	
TN-65	150m/m	〃	
	200m/m	〃	
	250m/m	〃	
	300m/m	〃	
ヤブジョイント	75m/m	個	
(鑄鉄管直管部)	100m/m	〃	
TN-65SM	150m/m	〃	
	200m/m	〃	
	250m/m	〃	
	300m/m	〃	
止水栓	13m/m(ホ-ル式)	個	
(本体のみ)	20m/m(- 〃 -)	〃	
	25m/m(- 〃 -)	〃	
	30m/m	〃	
	40m/m	〃	
	50m/m	〃	
メ-タ直結伸縮止水栓	13m/m	個	
(本体のみ)逆止弁なし	20m/m	〃	
※日興特殊バルブ製	25m/m	〃	
リングバルブ	40m/m	〃	
	50m/m	〃	
メ-タ直結	13m/m	個	
逆止弁付伸縮ホ-ル止水栓	20m/m	〃	
※外部メッキ無し仕様	25m/m	〃	
	40m/m	〃	
メ-タ直結	13m/m	個	
伸縮・逆止なし	20m/m	〃	
トンボハンドル	13m/m	個	
直結止水栓上部	20m/m	〃	
※外部メッキ無し仕様	25m/m	〃	
スリースバルブ(JIS 10kg/cm ²)	13m/m	個	
	20m/m	〃	
	25m/m	〃	
	30m/m	〃	
	40m/m	〃	
	50m/m	〃	
ソフトシール仕切弁	50m/m	個	
逆止弁	13m/m	個	
(ユニオン×平行ネジ)	20m/m	〃	
φ30・40は平行ネジ×ユニオン	25m/m	〃	
	30m/m	〃	
	40m/m	〃	
	50m/m	〃	
町野式消火栓	40m/m	個	
町野式カップリング	40m/m	個	
水栓用パッキン	13m/m	枚	
	20m/m	〃	
	25m/m	〃	
	30m/m	〃	
	40m/m	〃	
	50m/m	〃	

材料単価表

品名	規格・寸法	単位	単価
水栓用ケレップ	13m/m	個	
	20m/m	〃	
	25m/m	〃	
	30m/m	〃	
	40m/m	〃	
	50m/m	〃	
量水器用閉栓プラグ	13m/m	個	
	20m/m	〃	
	25m/m	〃	
	40m/m	〃	
止水栓ボックス (明石式)	L=600	個	
	L=400	〃	
直結用メータボックス (明石式)	13m/m	〃	
	20m/m	〃	
	25m/m	〃	
	40m/m	〃	
	新型40m/m	〃	
直結用メータボックス(逆止弁付)	20m/m	個	
	25m/m	〃	
メータボックス (明石式、鉄蓋のみ)	50m/m	個	
	75m/m	〃	
	100m/m	〃	
	150m/m	〃	
樹脂製メーターボックス	20m/m	個	
	25m/m	〃	
	40m/m	〃	
スリースバルフ蓋 40・50	鉄製	個	
	樹脂製	〃	
排泥弁ボックス	明石式 鉄蓋	個	
	30K	〃	
	200A	〃	
	100B	〃	
	スラブ	〃	
鑄鉄用サル分水栓	20m/m(前澤、夕子、栗本、日邦、光明、新興弁栓製)	個	
	φ 75	25m/m(- 〃 -)	〃
	密着コア込	30m/m(- 〃 -)	〃
		40m/m(- 〃 -)	〃
		50m/m(- 〃 -)	〃
鑄鉄用サル分水栓	20m/m(前澤、夕子、栗本、日邦、光明、新興弁栓製)	個	
	φ 100	25m/m(- 〃 -)	〃
	密着コア込	30m/m(- 〃 -)	〃
		40m/m(- 〃 -)	〃
		50m/m(- 〃 -)	〃
鑄鉄用サル分水栓	20m/m(前澤、夕子、栗本、日邦、光明、新興弁栓製)	個	
	φ 150	25m/m(- 〃 -)	〃
	密着コア込	30m/m(- 〃 -)	〃
		40m/m(- 〃 -)	〃
		50m/m(- 〃 -)	〃
鑄鉄用サル分水栓	20m/m(前澤、夕子、栗本、日邦、光明、新興弁栓製)	個	
	φ 200	25m/m(- 〃 -)	〃
	密着コア込	30m/m(- 〃 -)	〃
		40m/m(- 〃 -)	〃
		50m/m(- 〃 -)	〃
鑄鉄用サル分水栓	20m/m(前澤、夕子、栗本、日邦、光明、新興弁栓製)	個	
	φ 250	25m/m(- 〃 -)	〃
	密着コア込	30m/m(- 〃 -)	〃
		40m/m(- 〃 -)	〃
		50m/m(- 〃 -)	〃

材料単価表

品名	規格・寸法	単位	単価
鑄鉄用サトル分水栓	20m/m(前澤、夕子、栗本、日邦、光明、新興弁栓製)	個	
φ300	25m/m(— 〃 —)	〃	
密着コア込	30m/m(— 〃 —)	〃	
	40m/m(— 〃 —)	〃	
	50m/m(— 〃 —)	〃	
鑄鉄用サトル分水栓	20m/m(前澤、夕子、栗本、日邦、光明、新興弁栓製)	個	
φ350	25m/m(— 〃 —)	〃	
密着コア込	30m/m(— 〃 —)	〃	
	40m/m(— 〃 —)	〃	
	50m/m(— 〃 —)	〃	
鑄鉄用サトル分水栓	20m/m(前澤、夕子、栗本、日邦、光明、新興弁栓製)	個	
φ400	25m/m(— 〃 —)	〃	
密着コア込	30m/m(— 〃 —)	〃	
	40m/m(— 〃 —)	〃	
	50m/m(— 〃 —)	〃	
密着コア	20m/m	個	
	25m/m	〃	
	30m/m	〃	
	40m/m	〃	
	50m/m	〃	
VP用サトル分水栓 φ40	20m/m(前澤、夕子、栗本、日邦、光明、新興弁栓製)	個	
	25m/m(— 〃 —)	〃	
VP用サトル分水栓 φ50	20m/m(前澤、夕子、栗本、日邦、光明、新興弁栓製)	個	
	25m/m(— 〃 —)	〃	
VP用サトル分水栓	20m/m(前澤、夕子、栗本、日邦、光明、新興弁栓製)	個	
φ75	25m/m(— 〃 —)	〃	
	30m/m(— 〃 —)	〃	
	40m/m(— 〃 —)	〃	
	50m/m(— 〃 —)	〃	
VP用サトル分水栓	20m/m(前澤、夕子、栗本、日邦、光明、新興弁栓製)	個	
φ100	25m/m(— 〃 —)	〃	
	30m/m(— 〃 —)	〃	
	40m/m(— 〃 —)	〃	
	50m/m(— 〃 —)	〃	
VP用サトル分水栓	20m/m(前澤、夕子、栗本、日邦、光明、新興弁栓製)	個	
φ150	25m/m(— 〃 —)	〃	
	30m/m(— 〃 —)	〃	
	40m/m(— 〃 —)	〃	
	50m/m(— 〃 —)	〃	
サトル分水栓キャップ	13m/m	個	
	20m/m	〃	
	25m/m	〃	
	30m/m	〃	
	40m/m	〃	
	50m/m	〃	
PE用 EF止水付サトル分水栓	20m/m	個	
φ50	25m/m	〃	
PE用 EF止水付サトル分水栓	20m/m	個	
φ75	25m/m	〃	
	40m/m	〃	
	50m/m	〃	
PE用 EF止水付サトル分水栓	20m/m	個	
φ100	25m/m	〃	
	40m/m	〃	
	50m/m	〃	
PE用 EFサトル付分水栓 φ50	20m/m	個	
	25m/m	〃	

材料単価表

品名	規格・寸法	単位	単価
PE用 EFサドル付分水栓 φ75	20m/m	個	
	25m/m	〃	
	40m/m	〃	
	50m/m	〃	
PE用 EFサドル付分水栓 φ100	20m/m	個	
	25m/m	〃	
	40m/m	〃	
	50m/m	〃	
PE 直管	20m/m	m	
	25m/m	〃	
	40m/m	〃	
	50m/m	〃	
PE EFソケット	20m/m	個	
	25m/m	〃	
	40m/m	〃	
	50m/m	〃	
PE EF90° エルボ	20m/m	個	
	25m/m	〃	
	40m/m	〃	
	50m/m	〃	
PE EFキャップ	20m/m	個	
	25m/m	〃	
	40m/m	〃	
	50m/m	〃	
PE EFレジューサ	25 × 20	個	
	50 × 40	〃	
小 計 No.1			

材料単価表

品名	規格・寸法	単位	単価
PE 直管	50m/m	m	
	75m/m	〃	
	100m/m	〃	
PE EF受口付直管(5m)	50m/m	本	
	75m/m	〃	
	100m/m	〃	
PE EFソケット	50m/m	個	
	75m/m	〃	
	100m/m	〃	
PE EF片受ベンド(90°)	50m/m	個	
	75m/m	〃	
	100m/m	〃	
PE EF片受ベンド(45°)	50m/m	個	
	75m/m	〃	
	100m/m	〃	
PE EF片受ベンド(22° 1/2)	50m/m	個	
	75m/m	〃	
	100m/m	〃	
PE EF片受ベンド(11° 1/4)	50m/m	個	
	75m/m	〃	
	100m/m	〃	
PE EF両受ベンド(90°)	50m/m	個	
	75m/m	〃	
	100m/m	〃	
PE EF両受ベンド(45°)	50m/m	個	
	75m/m	〃	
	100m/m	〃	
PE EF両受ベンド(22° 1/2)	50m/m	個	
	75m/m	〃	
	100m/m	〃	
PE EF両受ベンド(11° 1/4)	50m/m	個	
	75m/m	〃	
	100m/m	〃	
PE EFキャップ	50m/m	個	
	75m/m	〃	
	100m/m	〃	
PE EFフランジ(RF形 7.5k)	50m/m	個	
	75m/m	〃	
	100m/m	〃	
PE EFチーズ(両受型)	50×50	個	
	75×50	〃	
	75×75	〃	
	100×50	〃	
	100×75	〃	
	100×100	〃	
PE EF片受レジュース	75×50	個	
	100×50	〃	
	100×75	〃	
PE フランジ付EFチーズRF形(7.5k)	75×75	個	
	100×75	〃	
PE挿し口付 ソフトシール仕切弁	50m/m	個	
	75m/m	〃	
	100m/m	〃	
ポリ管ソフト メカニカル受口付	50m/m	個	
	75m/m	〃	
	100m/m	〃	
PE挿し口付 鋳鉄製フランジT字管	φ 75	個	
	φ 100	〃	
PE挿し口付 鋳鉄製フランジ短管(7.5K)	50m/m	個	
	75m/m	〃	
	100m/m	〃	
PE継輪 鋳鉄製メカニカル	50m/m	個	
	75m/m	〃	
	100m/m	〃	
PCジョイント	φ 50	個	
	φ 75	〃	

材料単価表

品名	規格・寸法	単位	単価
PCジョイント片落	CIP φ 75 × PE φ 50	個	
	CIP φ 100 × PE φ 50	"	
PVジョイント	PE φ 50 × VP φ 40	個	
EFスクリージョイント(50m/m)	オネジソケット	個	
	メネジソケット	"	
	ユニオンソケット	"	
SPスクリージョイント(50m/m)	オネジアダプター	個	
小 計 No.2			

材料単価表

品名	規格・寸法	単位	単価
ケレップ式消火栓	φ75×65 単口式 浅埋対応型	個	
補修弁	φ75×100 キャップ式	〃	
補修弁	φ100×200 キャップ式	〃	
空気弁付消火栓	φ75×65 浅埋対応型	〃	
急速空気弁	φ25 甲 単口式 浅埋対応型	〃	
急速空気弁	φ25 乙 単口式 浅埋対応型	〃	
急速空気弁	φ75 単口式 浅埋対応型	〃	
フランジ継手材	φ75 M16×75×4本 及びパッキン	組	
フランジ継手材(LSP)	φ75 M16×75×4本(SUS304製) 及びパッキン	〃	
フランジ継手材(LSP)	φ100(- 〃 -)	〃	
LSPフランジ用抜け防止ホルトナット	M16×75(SUS304製)	本	
両フランジ短管φ75×100	0.75Mpa 内面粉体塗装	本	
両フランジ短管φ75×150	0.75Mpa 内面粉体塗装	〃	
両フランジ短管φ75×200	0.75Mpa 内面粉体塗装	〃	
両フランジ短管φ75×250	0.75Mpa 内面粉体塗装	〃	
両フランジ短管φ75×300	0.75Mpa 内面粉体塗装	〃	
両フランジ片落管(φ100×φ75)	株外-鑄造社製	〃	
仕切弁鉄蓋(円形1号)	明石IV型 φ250	個	
バタフライ弁鉄蓋(円形3号)	明石型 φ500	〃	
バタフライ弁鉄蓋(円形4号)	明石型 φ600	〃	
仕切弁室(円形1号 φ75~250)	明石型 H0.7~0.8m 鉄蓋~底板1式	組	
バタフライ弁室(円形3号 φ500)	明石型 H1.0m 鉄蓋~底板1式	〃	
バタフライ弁室(円形4号 φ600)	明石型 H1.0m 鉄蓋~底板1式	〃	
消火栓鉄蓋	明石角型(IV型)	個	
	円形3号(φ500耐塩害仕様鉄蓋)	〃	
	明石円型3号(φ500)	〃	
	明石円型3号(φ500耐スリップ仕様鉄蓋)	〃	
	明石円型4号(φ600)	〃	
	明石角型(760×460)	〃	
無収縮モルタル		kg	
消火栓室 角型1号(400×500)	明石角型 H1.0m 鉄蓋及びボックス 一式	組	
消火栓室 円形3号(φ500)	明石円型 H1.0m 耐スリップ仕様鉄蓋及びボックス 一式	〃	
消火栓室 円形3号(φ500)	明石円形 H1.0m φ500耐塩害仕様鉄蓋及びボックス 一式	〃	
消火栓室 円形4号(φ600)	明石丸型 H1.0m 鉄蓋及びボックス 一式	〃	
消火栓室 角型(760×460)	明石角型 H1.0m 鉄蓋及びボックス 一式	〃	
DK-1 直管 4.00m	φ75 内面エポキシ粉体塗装	本	
DK-1 直管 4.00m	φ100 内面エポキシ粉体塗装	〃	
DK-1 直管 5.00m	φ150 内面エポキシ粉体塗装	〃	
DK-1 直管 5.00m	φ200 内面エポキシ粉体塗装	〃	
DK-1 直管 5.00m	φ250 内面エポキシ粉体塗装	〃	
DK 曲管 90°	φ75 内面粉体塗装	本	
	φ100 内面粉体塗装	〃	
	φ150 内面粉体塗装	〃	
	φ200 内面粉体塗装	〃	
	φ250 内面粉体塗装	〃	
DK 曲管 45°	φ75 内面粉体塗装	本	
	φ100 内面粉体塗装	〃	
	φ150 内面粉体塗装	〃	
	φ200 内面粉体塗装	〃	
	φ250 内面粉体塗装	〃	
DK 曲管 22° 1/2	φ75 内面粉体塗装	本	
	φ100 内面粉体塗装	〃	
	φ150 内面粉体塗装	〃	
	φ200 内面粉体塗装	〃	
	φ250 内面粉体塗装	〃	

材料単価表

品名	規格・寸法	単位	単価
DK 曲管 11° 1/4	φ 75 内面粉体塗装	本	
	φ 100 内面粉体塗装	〃	
	φ 150 内面粉体塗装	〃	
	φ 200 内面粉体塗装	〃	
	φ 250 内面粉体塗装	〃	
継輪	φ 75 内面粉体塗装	個	
	φ 100 内面粉体塗装	〃	
	φ 150 内面粉体塗装	〃	
	φ 200 内面粉体塗装	〃	
	φ 250 内面粉体塗装	〃	
栓(接合材含む)	φ 75 内面粉体塗装	個	
	φ 100 内面粉体塗装	〃	
	φ 150 内面粉体塗装	〃	
	φ 200 内面粉体塗装	〃	
	φ 250 内面粉体塗装	〃	
フランジ蓋 0.75MPa RF形 (フランジ継手材含む)	φ 75	個	
	φ 100	〃	
DK帽(特殊押輪,接合材含む)	φ 75 内面粉体塗装	個	
	φ 100 内面粉体塗装	〃	
	φ 150 内面粉体塗装	〃	
	φ 200 内面粉体塗装	〃	
	φ 250 内面粉体塗装	〃	
フランジ付T字管(浅埋形)φ 75	φ 75 内面粉体塗装	本	
	φ 100 内面粉体塗装	〃	
	φ 150 内面粉体塗装	〃	
	φ 200 内面粉体塗装	〃	
	φ 250 内面粉体塗装	〃	
DKソフトシール仕切弁 (受挿し)	φ 75	個	
	φ 100	〃	
	φ 150	〃	
	φ 200	〃	
	φ 250	〃	
接合部品1式	φ 75特殊押輪・押輪・ゴム輪・ホルトナット含む	式	
	φ 100特殊押輪・押輪・ゴム輪・ホルトナット含む	〃	
	φ 150特殊押輪・押輪・ゴム輪・ホルトナット含む	〃	
	φ 200特殊押輪・押輪・ゴム輪・ホルトナット含む	〃	
	φ 250特殊押輪・押輪・ゴム輪・ホルトナット含む	〃	
	φ 75特殊押輪(3DkN)・押輪・ゴム輪・ホルトナット含む	〃	
	φ 100特殊押輪(3DkN)・押輪・ゴム輪・ホルトナット含む	〃	
	φ 150特殊押輪(3DkN)・押輪・ゴム輪・ホルトナット含む	〃	
	φ 200特殊押輪(3DkN)・押輪・ゴム輪・ホルトナット含む	〃	
	φ 250特殊押輪(3DkN)・押輪・ゴム輪・ホルトナット含む	〃	
A・K形既設管用耐震金具 (3DkN以上)	φ 75	個	
	φ 100	〃	
	φ 150	〃	
	φ 200	〃	
	φ 250	〃	
VCジョイント	φ 75	個	
	φ 100	〃	
	φ 150	〃	
短管1号 φ 75	0.75Mpa 内面粉体塗装	本	
短管2号 φ 75	0.75Mpa 内面粉体塗装	〃	
小 計 No.3			
材料単価表合計 (小計 No.1~3) …①			
GX形材料単価表合計 (別紙1) …②			
(1) 材料単価合計 (①+②)			

GX形ダクタイル鑄鉄管材料単価表

	φ 75	φ 100	φ 150	φ 200	φ 250	備考
DGX-S直管						ゴム輪・ロックリング(ホルダー含む) ・内面エポキシ紛体塗装
DGX曲管45°						ロックリング含む・内面紛体塗装
DGX曲管22° × 1/2						ロックリング含む・内面紛体塗装
DGX曲管11° × 1/4						ロックリング含む・内面紛体塗装
DGX乙字管300H						ロックリング含む・内面紛体塗装
DGX乙字管450H						ロックリング含む・内面紛体塗装
DGX両受曲管45°						ロックリング含む・内面紛体塗装
DGX両受曲管22° × 1/2						ロックリング含む・内面紛体塗装
DGXフランジ付丁字管 φ○ × 75						ロックリング含む・内面紛体塗装
DGXフランジ付丁字管 浅埋型 φ○ × 75						ロックリング含む・内面紛体塗装
DGX継輪						ロックリング含む・内面紛体塗装
DGX両受短管						ロックリング含む・内面紛体塗装
DGX栓(直管用)						ロックリング含む・内面紛体塗装
DGX栓(異形管用)						ロックリング含む・内面紛体塗装
GX形接合セット						異形管・バルブ用
GX形P-Linkセット						切管直管受用
GX形G-Linkセット						切管異形管受用
GX形ライナ						ライナボード含
GX形挿しロリング						ライナボード含
GX形帽						内面エポキシ紛体塗装
GX形ソフトシール仕切 弁(受挿型)						
GX形ソフトシール仕切 弁(両受型)						ロックリング含む・内面紛体塗装
GX形二受丁字管 φ○ × 75						ロックリング含む・内面紛体塗装
GX形二受丁字管 φ○ × 100						ロックリング含む・内面紛体塗装
GX形二受丁字管 φ○ × 150						ロックリング含む・内面紛体塗装
GX形二受丁字管 φ○ × ○(○: 同口径)						ロックリング含む・内面紛体塗装
GX形受挿片落管						それぞれ1サイズダウン
GX形挿受片落管						それぞれ1サイズダウン
GF形2号ガasket2号						
GF形2号使用フランジ 継手材						

GX形材料単価表合計

配水管修繕工事単価表

1 配水管

工種	規格・寸法	単位	区 分	単 価	区 分	単 価	備 考
鋳鉄管切断工	φ 75	1口	新設管		既設管		
	φ 100	1口	新設管		既設管		
	φ 150	1口	新設管		既設管		
	φ 200	1口	新設管		既設管		
	φ 250	1口	新設管		既設管		
ポリエチレン管切断工	φ 50	1口	新設管				
	φ 75	1口	新設管				
	φ 100	1口	新設管				
鋳鉄管吊込み据付工	φ 75	1m	据付		撤去		
	φ 100	1m	据付		撤去		
	φ 150	1m	据付		撤去		
	φ 200	1m	据付		撤去		
	φ 250	1m	据付		撤去		
ポリエチレン管据付工	φ 50	1m	据付		撤去		
	φ 75	1m	据付				
	φ 100	1m	据付				
鋳鉄管メニカル継手工 (設置・撤去) <small>(普通押輪)</small>	φ 75	1口	設置		撤去		
	φ 100	1口	設置		撤去		
	φ 150	1口	設置		撤去		
	φ 200	1口	設置		撤去		
	φ 250	1口	設置		撤去		
鋳鉄管メニカル継手工 (設置・撤去) <small>(特殊押輪)</small>	φ 75	1口	設置		撤去		
	φ 100	1口	設置		撤去		
	φ 150	1口	設置		撤去		
	φ 200	1口	設置		撤去		
	φ 250	1口	設置		撤去		
ポリエチレン管継手工	φ 50	1m	融着接合		メニカル継手		
	φ 75	1m	融着接合		メニカル継手		
	φ 100	1m	融着接合		メニカル継手		
鋳鉄管フランジ継手工 (GF・RF接合含む)	φ 75	1口	設置		撤去		
	φ 100	1口	設置		撤去		
	φ 150	1口	設置		撤去		
	φ 200	1口	設置		撤去		
	φ 250	1口	設置		撤去		
鋳鉄製仕切弁	φ 75	1基	設置		撤去		
	φ 100	1基	設置		撤去		
	φ 150	1基	設置		撤去		
	φ 200	1基	設置		撤去		
	φ 250	1基	設置		撤去		

工種	規格・寸法	単位	区 分	単 価	区 分	単 価	備 考
石綿管継手取外し工	φ75	1口	設置		撤去		
	φ100	1口	設置		撤去		
	φ150	1口	設置		撤去		
石綿管吊上げ積込み工	φ75	1m	設置		撤去		
	φ100	1m	設置		撤去		
	φ150	1m	設置		撤去		
消火栓設置工 単口	φ75×65	1箇所	設置		撤去		フランジ1口含む
空気弁設置工	φ25	1基	設置		撤去		
	φ75	1基	設置		撤去		
円形1号	鉄蓋	φ250	1個	設置		撤去	無収縮モルタル含む
円形3号	鉄蓋	φ500	1個	設置		撤去	無収縮モルタル含む
円形4号	鉄蓋	φ600	1個	設置		撤去	無収縮モルタル含む
角形	鉄蓋	角	1個	設置		撤去	無収縮モルタル含む
円形1号	ボックス	H1.0m	1箇所	設置		撤去	
円形3・4号	ボックス	H1.0m	1箇所	設置		撤去	
角形	ボックス	H1.0m	1箇所	設置		撤去	
ポリエチレンスリーブ被覆工(材工共)	φ75以下	1m	設置				
	φ100	1m	設置				
	φ150	1m	設置				
	φ200	1m	設置				
	φ250	1m	設置				
	φ300	1m	設置				
PE用ポリエチレンスリーブ(溶剤浸透防止)被覆工(材工共)	φ50	1m	設置				
	φ75	1m	設置				
	φ100	1m	設置				
防食フィルム設置工(材工共)		1箇所	設置				
明示テープ工(材工共)		1m	設置				
ロケータイングワイヤ(材工共)	φ4.4	1m	設置				
通水試験費(水圧試験)		1回					
配水管合計	…③						

工種	規格・寸法	単位	区 分	単 価	区 分	単 価	備 考
----	-------	----	-----	-----	-----	-----	-----

2 GX形配水管

工種	規格・寸法	単位	区 分	単 価	区 分	単 価	備 考
GX継手設置工 (直管・異形管)	φ 75	1口	直管		異形管		
	φ 100	1口	直管		異形管		
	φ 150	1口	直管		異形管		
	φ 200	1口	直管		異形管		
	φ 250	1口	直管		異形管		
GX継手設置工 (P(G)-Link) 接合	φ 75	1口	P-Link		G-Link		
	φ 100	1口	P-Link		G-Link		
	φ 150	1口	P-Link		G-Link		
	φ 200	1口	P-Link		G-Link		
	φ 250	1口	P-Link		G-Link		

GX形配水管合計	…④	
-----------------	----	--

3 特殊施工一覧（材料・施工）

特殊施工単価合計（別紙2）…⑤	
------------------------	--

特記事項 ※ 配水管の漏水修繕時は、本単価の2倍とする。（ただし、24時間適用）

(2) 配水管修繕工事 単価合計 (③+④+⑤)	
---------------------------------	--

3 特殊施工一覧 (材料・施工)

	φ 75	φ 100	φ 150	φ 200	φ 250	φ 300	φ 350	φ 400	φ 450
不断水簡易バルブ (材料)									
不断水簡易バルブ (材料・吋)									
簡易バルブ付 耐震型割T字管 φ 75 × φ ○									
簡易バルブ付 耐震型割T字管 φ 100 × φ ○									
簡易バルブ付 耐震型割T字管 φ 150 × φ ○									
簡易バルブ付 耐震型割T字管 φ 200 × φ ○									
不断水簡易バルブ 施工単価									
不断水連絡工 φ 75 × φ ○									
不断水連絡工 φ 100 × φ ○									
不断水連絡工 φ 150 × φ ○									
不断水連絡工 φ 200 × φ ○									
ABS式止水工法 (材工共)									
凍結工法									

特殊施工単価合計

給水漏水修繕工事費 単価表

工種	単位	口径								備考	
		13	16	20	25	30	40	50	75		100
止水栓取付(ボックス除く)	個										
止水栓ボックス取付	個										
メータ据付	個										φ50・70mmはフランジ'接合含む
メータ撤去	個										φ50・70mmはフランジ'接合含む
メータボックス据付	個										
VP用ユニオン接合	個										鋼管ねじ込み接合(1口)に準拠
ビニル管布設	m										
ビニル管接合(TS継手)	口										ソケット及びエルボ1個当り2口、チーズは1個当り3口
ポリエチレン管布設	m										
ポリエチレン管接合	口										ソケット及びエルボ1個当り2口
PP用ユニオン取付	個										PP接合手間1口に準拠
分水栓取付CIP φ75~150	個										
分水栓取付CIP φ200~250	個										
分水栓取付CIP φ300以上	個										
分水栓取付HI40~50	個										
分水栓取付HI75~100	個										
分水栓取付HI150以上	個										
トンボハンドル取付(修繕時含む)	個										
密着コア取付	個										配水管種が铸铁管の場合に分水栓に取付

給水漏水修繕工事単価A 合計 …⑥

		φ40	φ50	φ75	φ100	φ150				
フクロジョイント取付	個									

		VP13	VP20	VP25	VP30	VP40	VP50	VP75	VP100	
MCユニオン取付	個									ビニル管接合2口

		φ13	φ20	φ25	φ30	φ40	φ50	φ75	φ100	
異種管ユニオン取付(SK・CK含)	個									ポリエチレン管接合2口

給水漏水修繕工事単価B 合計 …⑦

給水一般工事費 単価表

工種	単位	口径								備考	
		13	16	20	25	30	40	50	75		100
止水栓取付(ボックス除く)	個										
止水栓ボックス取付	個										
メータ据付	個										φ50・70mmはフランジ'接合含む
メータ撤去	個										φ50・70mmはフランジ'接合含む
メータボックス据付	個										
VP用ユニオン接合	個										鋼管ねじ込み接合(1口)に準拠
ビニル管布設	m										
ビニル管接合(TS継手)	口										ソケット及びエルボ1個当り2口、チーズは1個当り3口
ポリエチレン管布設	m										
ポリエチレン管接合	口										ソケット及びエルボ1個当り2口とする。
PP用ユニオン取付	個										PP接合手間1口に準拠
分水栓取付CIP φ75~150	個										
分水栓取付CIP φ200~250	個										
分水栓取付CIP φ300以上	個										
分水栓取付HI40~50	個										
分水栓取付HI75~100	個										
分水栓取付HI150以上	個										
トンボハンドル取付(修繕時含む)	個										
密着コア取付	個										配水管種が铸铁管の場合に分水栓に取付

給水一般工事単価 合計 …⑧

(3) 給水管修繕工事単価合計 (⑥+⑦+⑧)

土 工 等 単 価 表

工 種	規 格 等	単位	昼単価	夜単価	摘 要
機械掘削工	バックホウ 0.13m ³	m ³			積込含
人力掘削工		m ³			積込含
舗装版取壊し積込み工	厚 4cm以下 人力施工	m ²			歩道等
舗装版取壊し積込み工	厚 4cmを超え～10cm以下 人力施工	m ²			積込含
舗装版取壊し積込み工	厚10cmを超え～15cm以下 人力施工	m ²			積込含
舗装版取壊し積込み工	厚15cmを超え～30cm以下 人力施工	m ²			積込含
舗装版取壊し積込み工(機械)	20cm以下 機械施工	m ²			積込含
舗装版取壊し積込み工(機械)	厚20cmを超え～40cm以下 機械施工	m ²			積込含
舗装版切断	厚15cm以下 (機械施工)	m			
舗装版切断	厚15cmを超え～30cm以下 (機械施工)	m			
舗装版切断	厚30cmを超え～40cm以下 (機械施工)	m			
構造物とりこわし工	人力施工	m ³			積込み含
構造物とりこわし工	機械施工	m ³			積込み含
土留工 (掘削深2.0m以下)	軽量鋼矢板 ハ工 枠 1 段支保	m			必要時(写真添付)
土留工 (掘削深2.5m以下)	軽量鋼矢板 ハ工 枠 2 段支保	m			必要時(写真添付)
人力埋戻工 (砂・碎石)	砂1/2・再生切込碎石1/2、 タンパ締固共	m ³			漏水修繕小規模土工用 埋戻単価
人力埋戻工 (スクリーングス・碎石)	スクリーングス1/2・再生切込碎石 1/2、タンパ締固共	m ³			— // — スクリーングス0～2.5mm
人力埋戻し工 (流用土)	タンパ締固共	m ³			
埋戻工 (砂)	小型機械併用 締固共 (水締・踏固含)	m ³			
埋戻工 (スクリーングス)	小型機械併用 締固共 (水締・踏固含)	m ³			スクリーングス 0～2.5mm
埋戻工 (再生碎石)	小型機械併用 締固共	m ³			
埋戻工 (流用土)	小型機械併用 締固共 (水締・踏固含)	m ³			

土工等単価表

工種	規格等	単位	昼単価	夜単価	摘要
路盤工(1)	仕上厚10cm 粒調碎石	m ²			人力施工
路盤工(2)	仕上厚10cm 再生切込碎石	m ²			人力施工
フィルター層	砂仕上厚5cm 路盤：粒調碎石	m ²			
残土処分工	土 砂 2tダンプ 運搬処分	m ³			投棄料含
残ガラ処分工	As・Co 2tダンプ 運搬処分	m ³			投棄料含
水替工	水中ポンプ	1日			必要時(写真添付)
仮復旧工(1)	再生密粒度7スコン 仕上厚5cm 又は一般常温合材	m ²			密粒度7スコン TOP13 小口 プラント引取り
仮復旧工(2)	高耐久性常温合材 仕上厚3cm 75kg/m ²	m ²			全天候型(TOP5mm) ス-パ-DRパッチ同等品以上
モルタル補修	厚10cm 混合比1:2	m ²			金ゴテ仕上げ
コンクリート工	21-12-20N	m ³			
型枠工		m ²			
溶接金網設置工 (ワイヤーメッシュ)	6.0×150×150	m ²			材工共
埋設物標示帯工	埋設標示シート150mm巾2倍	m			材工共
普通作業員		人			
配管工		人			
交通誘導員A		人			
交通誘導員B		人			
昼単価小計(左)、夜単価小計(右)					

(4) 土工等単価 合計

旧公道撤去工事単価表

掘削有り(単位;円)

路面種別	分水栓数	単価
砂利道	1箇所	(廃止)土工単価使用
	2箇所	(廃止)土工単価使用
	3箇所	(廃止)土工単価使用
	4箇所	(廃止)土工単価使用
アスファルト1層式	1箇所	(廃止)土工単価使用
	2箇所	(廃止)土工単価使用
	3箇所	(廃止)土工単価使用
	4箇所	(廃止)土工単価使用
アスファルト2層式	1箇所	(廃止)土工単価使用
	2箇所	(廃止)土工単価使用
	3箇所	(廃止)土工単価使用
	4箇所	(廃止)土工単価使用
アスファルト3層式	1箇所	(廃止)土工単価使用
	2箇所	(廃止)土工単価使用
	3箇所	(廃止)土工単価使用
	4箇所	(廃止)土工単価使用

掘削なし(単位;円)

分水栓数	単価
1箇所	
2箇所	
3箇所	
4箇所	

※計上数量以上の掘削が生じたときは別途土工を計上

(5) 旧公道撤去単価 合計	
----------------	--

業務委託共通仕様書

(総則)

(適用)

第1条 本仕様書は、明石市水道局（以下、「委託者」という。）が発注する漏水修繕等工事業務（小規模配水管移設工事含む）及び給水装置整備工事業務に適用する。

(責務)

第2条 本委託は、全て法令等の定めによるほか、仕様書、設計書等（以下「設計図書」という。）に基づき、委託者の指示のもとに、忠実に誠意をもって迅速に施工し、全て本委託受託者（以下、「受託者」という。）の責任施工とする。

(疑義)

第3条 受託者は、契約前に設計図書を精査し、業務内容を十分把握した上で契約締結を行うこと。もし、設計図書その他に疑義があるときは、契約前に解決し、契約後は委託者の解釈に従うこと。契約後の異議は一切認めない。

(給水装置工事主任技術者)

第4条 給水装置工事主任技術者は、工事期間中、全責任を持ち、工事現場に常駐し、工事に関する一切の事項を処理すること。また、給水装置工事主任技術者が工事現場に常駐しない場合は、工事を中止すること。

(法令等の遵守)

第5条 本委託の実施にあたり、受託者は建設業法、道路交通法、労働基準法、労働者災害補償保険法、労働安全衛生法、その他関係法規を順守し、必要な諸手続きを行い、事故を起こさないよう十分注意すること。

(損害賠償)

第6条 本委託において、受託者の責により生じた全ての損害賠償及び補償は、委託者の指示に従い、受託者の費用で処理すること。

2 受託者は、前項の損害が発生したとき及び必要な補償があるときは、その折衝に当たるとともに、その経過を速やかに委託者に報告すること。

(現場立会)

第7条 受託者は、必要があれば施工に先立ち、その位置、工法、交通保安設備、材料等の準備について、関係官公署等の係員と現場立会し、その許可条件、指示事項等を確認しなければならない。

(事故発生時の措置)

第8条 事故等緊急非常事態が発生したときは、人命救助を最優先に措置するとともに、速やかに関係方面へ連絡しなければならない。また、委託者に事情を詳しく報告するとともに、その指示を受けるものとする。

(地元説明)

第9条 受託者は、所定の工事標示を行い、付近住民に工事内容を説明して協力を求め、工事の円滑な遂行を図ること。

2 工事中に発する騒音によって、付近住民の日常生活、業務等を妨害しないよう配慮すること。

3 施工について営業等に支障があると思われるときは、委託者及び付近住民と協議のうえ、できるだけこれの軽減に努めること。

(交通の安全)

第10条 工事施工の場合は、委託者、道路管理者、所轄警察署とよく協議した後に着手すること。

2 工事現場、その他必要と認める場所に道路標識、標示位置、保安柵等を設置し、必要に応じて交通誘導員等を配置すること。

(保安設備)

第11条 受託者は、工事中、居住者並びに一般通行人に危険を及ぼさないように、保安設備には万全を期すること。

2 工事中、道路使用許可条件を守り、また、工事着手届を所轄道路管理者に届け出ること。

(工事写真)

第12条 費用請求の根拠となる写真は、設計数量の根拠となる各種断面、配管延長、舗装面積等の寸法が容易に判別できるように撮影すること。

2 着手前写真を撮り漏らさないように留意すること。

3 各種許可申請や完了届に必要な写真の撮影や整理提出を遅滞なく行うこと。

(提出書類)

第13条 受託者は施工後、請求書を作成し、委託者の写真判定検査を受けること。なお、請求分は当月分を対象とし、事後分は請求しても却下する場合がある。また、写真については、施工の着手前、工事中、埋戻し断面の状況、竣工及びその他委託者が指示する状況を撮影し、請求書に添付すること。判定検査の結果、詳細不明、不必要な配管等が認められ、請求費用に差異が生じたときは、委託者指示に基づくものとする。

2 小規模配水管移設工事にあつては、竣工図を、白色ケント紙 110kg (A 3 サイズ) で作成すること。また、小規模配水管移設工事以外であっても、委託者が必要とする

場合は、同様に竣工図を作成すること。

3 給水漏水修繕工事費の単価は、漏水修繕工事の場合にのみ使用すること。

(施工)

◎掘削工

1. 掘削に先立ち、地上及び地下構造物等を調査し、必要な立会確認後（各管理者に施工通知を出し指示を受けること）、損傷を与えないように注意しながら掘削し、施工箇所が近づく前に必ず機械掘削から人力掘削に変え、施工場所を判明させること。
2. 掘削は溝掘または壺掘とし、その敷は凹凸のないよう平坦にし、良質土で敷き均すこと。
3. 深掘削、軟弱土質または湧水等の危険個所の掘削は、土留工を適切に施し、水を排除しながら掘削するとともに、その排水先に注意すること。
4. 舗装道路面の掘削は、カッター切断機を使用して、適切な幅及び長さに切断し、必要箇所以外に影響部分を生じさせないように施工すること。
5. 道路横断の場合は、交通等に支障が生じないように片側あるいは半分の掘削及び埋戻し後、残りの部分の掘削にかかること。それにより難い場合は適切な覆工板または滑り止め加工鉄板等を使用して、安全な通行確保を図ること。
6. 掘削土砂等を道路上等に放置して、交通及び近隣居住者並びに一般通行人に支障のないように適切な措置を講じること。
7. 掘削時には、工事標識及び保安柵等の保安施設を配置し、必要に応じて交通誘導員を現場に配置して作業すること。

◎配管工

1. 配管要領及び配管方法については、本市条例並びに各種規程に適合するものとし事後漏水が発生しないよう、最善の方法で執り行うこと。
2. 事後漏水が早期に発生した場合は、手直し改良を命ずることがある。
3. 小規模配水管移設工事は、施工前に工法・手順等を委託者と協議完了後に取り掛かること。

◎埋戻し工

1. 埋め戻しは、後の舗装本復旧に備えて砂・流調砕石等により埋戻し、在来土砂から全面入替すること。また、国道・県道の場合は、別途指示断面に基づいて埋め戻すこと。（各断面写真必要）
なお、道路範囲外は、状況に応じた材料で埋め戻すこと。
2. 転圧は、厚さ 20 c m 以下毎に敷き均して、ランマー等により十分締め固めること。
3. 埋戻しの際、仕上がり地盤から -40 c m 程度または管土被りの 1/2 の所に埋設物

標示帯（水道用）を設置のこと。

4. 残土・埋戻し土砂を現場に積んだ状態にはしないこと。不要なものは全て現場外に搬出すること。
5. 掘削により生じた残土及び産業廃棄物は、関係法規に基づき、受託者の責任において直ちに現場外に搬出し、処分すること。

◎仮復旧工

1. 舗装道路の掘削跡は、埋戻し完了後、直ちに加熱合材により仮復旧施工すること。
なお、加熱合材による仮復旧ができない夜間や休日等は、全天候型高耐久性の常温合材による仮復旧とする。（各種常温合材を事前に用意しておくこと。）
2. 仮復旧後は、直ちに水道マークを青色ペイントで明示して、事後の本復旧に備え、本復旧工事施工まで仮復旧箇所を巡回し、沈下、不陸その他不良が生じた場合は直ちに復旧すること。

◎残土処分・ガラ処分等

産業廃棄物の対象となるアスファルト及びコンクリートガラの残塊並びに工事に伴う一般土砂の処分場所は、兵庫県の許可を得た場所とする。

なお、廃棄物処分計画書を提出すること。

◎片づけ・清掃

工事完了後は、周辺路面や隣接側溝等を適切に洗浄・清掃し、周辺住民や通行等に迷惑をかけないようにすること。

◎その他

委託者が施工現場において指示した事項、並びに事前の協議時に指示した事項を厳守すること。

(施工単価・請求費用算出)

1. 費用請求に用いる単価表については、下表のとおりとする。

委託業務名	漏水修繕等工事業務委託 (小規模配水管移設工事含む)	給水装置整備工事業務委託
材料単価	材料単価表	
配管単価	配水管修繕工事単価表及び 給水管修繕工事単価表	
土工等単価	土工等単価表	
旧公道撤去単価	旧公道撤去単価表	

また、諸経費については、各項目について下表の率の範囲内で計上できるものとする。

項目	経费率	
委託業務名	漏水修繕等工事業務委託 (小規模配水管移設工事含む)	給水装置整備工事業務委託
共通仮設费率計上分	共通仮設費対象額 ^{注①} の 15.98%	共通仮設費対象額 ^{注①} の 13.32%
現場管理費	現場管理費対象額 ^{注②} の 41.57%	現場管理費対象額 ^{注②} の 37.79%
一般管理費	工事原価 ^{注③} の 24.75%	工事原価 ^{注③} の 24.75%

注①・・・材料費の1/2、配管費、土工費、交通誘導員の費用の合計とする。

注②・・・材料費の1/2、配管費、土工費、交通誘導員の費用及び共通仮設費の合計とする。

注③・・・純工事費と現場管理費の合計とする。

- 費用請求の際には、別途消費税相当額を加算する。
- 夜間及び休日の労務費については、労働基準法に基づいて算出することを基本とする。但し、夜間及び休日の施工については、緊急を要する場合に限るものとする。
- 漏水修繕の工事単価（ただし材料は除く。）は、設定のないものについては通常単価の2倍とする。（昼夜間休日共）
- 給水一般工事の工事費は平日夜間にあつては平日昼間の1.5倍、土日祝日にあつては昼間は平日昼間の1.35倍、夜間は平日昼間の1.6倍の額を支払うものとする。
- 土工単価表の夜単価は、20時から翌6時に適用する。
- 土工単価における土日祝日については、以下の算出式にて算出された額を支払うものとする。

$$\cdot \text{昼単価} = \text{昼単価} + (\text{夜単価} - \text{昼単価}) \times 0.7 \quad (\text{補足説明: } 0.7 = 0.35 \times 2)$$

$$\cdot \text{夜単価} = \text{昼単価} + (\text{夜単価} - \text{昼単価}) \times 1.2 \quad (\text{補足説明: } 1.2 = 0.6 \times 2)$$

8. 費用算出数量の根拠資料を作成し添付すること。
※数量計算書および施工図面（平面図、断面図、求積図等）、交通整理員日報、請求書、工事写真等
9. 道路使用許可申請書等の県証紙代は、経費（諸雑費）に含まれているため、受託者が実費負担すること。

【漏水修繕等工事業務委託 特記仕様書】

1. 本仕様書は、明石市水道局（以下、「委託者」という。）が委託発注する漏水修繕工事等の施工等について規定するものであり、施工を行う業者（以下「受託者」という。）は、安全性確保のうえ早期修繕対応を基本とし、本仕様書に定める事項の他、委託者指示事項及びその他関係法規に基づき、迅速、丁寧施工し、全て受託者の責任施工とする。
2. 公道漏水等修繕業務は、十分な知識と能力を有する従事者を配置しなければならない。給水装置工事主任技術者の他、本管修繕時には鋳鉄管継手資格者を配置すること。
3. 業務の予定量は、下記のとおりである。
漏水修繕業務予定件数・・・・・・・・・・・・・・・・約 700 件
旧公道撤去工事予定件数・・・・・・・・・・・・・・・・約 200 件
給配水管移設・連絡替工事・消火栓修繕工事等予定件数・・・・・・約 200 件
（小規模配水管移設工事含む。）
上記は事情により過不足が生じるが、その実態に応じること。
4. 施工の手配手順としては、委託者（明石市水道サービスセンター含む）から受託者に依頼し、その後、直ちに委託者の担当職員に連絡をとり、施工協議するものとする。
5. 受託者は、依頼に備え、業務に必要な重機車両や器具等を準備しておくとともに、緊急修繕に要する修繕資材を一定数確保しておくこと。配管工や従事者、交通誘導員を迅速に手配する等、常に万全の体制で業務を遂行できるように整備しておくこと。
6. 受託者は、受託後直ちに委託者の担当職員と施工要領の細部協議（施工日程、断水の有無、使用材料、修繕方法等）を行うこと。
7. 受託者は、施工箇所が道路（公道、私道問わず）の場合、所轄警察署に道路使用許可申請を行うとともに、市道なら道路占用（一時掘削）申請を行い、許可されてから施工を実施すること。また、施工中は道路使用許可書を携帯し、許可条件及び指示事項を遵守すること。ただし、漏水量が多い等、道路構造への影響の大きさや安全上緊急を要すると判断した場合、その他緊急を要する場合はこの限りでなく、所轄警察署の緊急掘削許可を取得後、即日施工を行うこと。

なお、緊急掘削後の提出書類は委託者担当職員の指示のとおりとする。

8. 施工箇所が国土交通省もしくは兵庫県が管轄している道路の場合、委託者が道路占有（一時掘削）申請を行うので、受託者は現況写真、位置図、施工図面（平面図、断面図、舗装復旧図等）、その他委託者担当職員が必要と判断した図面等を作成し委託者に提出すること。許可され次第、許可書の写しを送付するので、所轄警察署に道路使用許可申請を行うこと。ただし、漏水量が多い等、道路構造への影響の大きさや安全上緊急を要すると判断した場合、その他緊急を要する場合はこの限りではなく、緊急掘削許可を取得後、即日施工を行うこと。なお、緊急掘削取得時に着手前現場写真が必要な場合もある。

※着手前写真は、後日必ず必要となるので撮り漏らすことのないよう留意すること。

9. 受託者は、事前に地上設備及び地下埋設物を可能な限り調査し、必要があれば管轄管理者と現地立会を行い、指示を受けること。また、施工中は埋設物等に十分注意し、損傷を与えないよう必要な処置を講ずること。

10. 工事に使用する材料、機械器具類等は施工現場に最適なものを使用すること。委託者担当職員が不適切と判断した場合は、工事の中止もしくは資機材の変更を指示することがある。

11. 施工の際には、現場及びその付近に十分な安全対策を施し、事故の未然防止の徹底化を図ること。また、付近住民に必要な広報連絡を行い、工事の協力を依頼するとともに騒音や振動による迷惑を出来る限り掛けないよう十分注意すること。

12. 施工中、受託者の現場責任者（給水装置工事主任技術者）は、必ず常駐し現場管理を適切に行うこと。

13. 施工中、突発的に広範囲な断水をせざるを得ない状況になった場合は、委託者担当職員の指示を受けるとともに対象住民に周知徹底すること。

14. 受託者は、本市から受託後、着手するまでの間、現場付近の安全対策を講じ、苦情等が発生しないよう適切に管理すること。

15. 修繕に伴って給水装置整備工事が必要となった場合、委託者に連絡確認のうえ、『給水装置整備工事業務委託特記仕様書』に基づき施工すること。

16. 受託者は、修繕工事完了後、原形復旧を行うが、舗装工事を伴う復旧の場合は、仮復旧（原則、加熱合材）を施した後に、速やかに（遅くとも1週間以内に）委託者に路面復旧手配書を提出し、本復旧完了までの期間、沈下や不陸等が生じないように現場管理を行うこと。路面復旧手配書には、現地勘案の上、適切な復旧面積を記載すること。また、特別な復旧条件がある場合は、特に詳細に復旧内容を記載すること。夜間や日曜祝日等で、仮復旧において加熱合材を使用できない場合は、常温

合材使用もやむを得ないが、車道や夏季期間の歩道部では合材の飛散や、自転車のタイヤの沈下等の問題がある箇所は全天候型高耐久性の舗装補修材または現場加熱型の舗装材等（※）を使用すること。

- ※ 参考 スーパーDRパッチ（前田道路株式会社）
- TDMオールウェザー（大成ロテック株式会社）
- レミファルトST（株式会社NIPPPO）
- レスキューパッチ（ニフレキ株式会社）
- スコップワン（墨東化成工業株式会社）
- アスコライト（同上）他

なお、通常の常温合材使用の場合は仮復旧工（1）の単価で請求すること。

17. 費用請求の重要な根拠となる写真については、各断面延長、配管延長、舗装面積等請求数量の根拠寸法が確認出来るように撮影し、また、各種配管継ぎ手部や特殊材料については、その数量や材料が確認できるように撮影すること。

特に土工においては掘削断面の寸法が確認できるように、スタッフやスケールを添えて撮影すること。（根拠がない場合は支払いに応じられない場合もある。）

掘削土量の機械掘削と人力掘削の場合は、根拠のない場合は、漏水修繕は6：4、その他工事は7：3とする。

なお、漏水状況を撮影し、漏水箇所の配管種・配管径を写真帳等に記載すること。

18. 旧公道撤去工事単価は、土工等を含む1箇所当たりの一式単価であるが、分水栓キャップ及び交通誘導員が必要な場合は別途請求すること。

19. 受託者は、施工後に委託者の指示様式で請求書を作成し、委託者担当職員の写真判定検査を受けること。

20. 請求書には、工事写真の他、請求数量の根拠となる出来形図、数量計算書、交通誘導員の日報等の資料も添付すること。

21. 本工事に必要な資器材及び人員は一箇所につき、下記のとおりとする。

- | | |
|-----------------------------------|-------|
| ① 小型ダンプトラック（2 t 以上） | 2 台程度 |
| ② 掘削機械（バックホウ 0.1 m ³ ） | 1 台以上 |
| ③ ハンドブレーカー | 1 台以上 |
| ④ 修繕に必要な工具類及び修繕用給水材料 | 1 式 |
| ⑤ ランマー及びエアランマー | 1 台以上 |
| ⑥ 現場作業員 | 3 人程度 |
| ⑦ 交通誘導員 A 又は B（必要時） | 所要人数 |

※安全な交通誘導に必要な人数・資格の誘導員を適切に（必要十分に）配置すること。

- | | |
|---------------|--------|
| ⑧ 給水装置工事主任技術者 | 常駐 1 名 |
|---------------|--------|

22. 管まわりの埋戻材料については、スクリーニングス F-2.5(0~2.5mm)を使用し、土壌の状態により洗い砂を使用のこと、その際委託者職員と協議すること。
23. その他基本事項はすべて『水道法』『明石市水道条例』『明石市水道条例施行規程』及び『労働安全衛生法』『道路交通法』『道路法』等各関係諸法規に基づくものとする。

【給水装置整備工事業務委託 特記仕様書】

1. 本仕様書は、明石市水道局（以下、「委託者」という。）が委託発注する給水装置整備工事の施工等について規定するものであり、施工を行う業者（以下、「受託者」という。）は、安全性確保のうえ早期修繕対応を基本とし、本仕様書に定める事項のほか、委託者指示事項及びその他関係法規に基づき、迅速、丁寧施工し、全て受託者の責任施工とする。
2. 業務の予定量は、下記のとおりである。
業務予定件数・・・・・・約 500 件
上記は事情により過不足が生じるが、その実態に応じること。
3. 受託者は、工事に使用する材料、機械器具類等について、施工現場に最も適切な資器材を取り揃えて臨むこと。
委託者が不適切と判断した場合、工事の中止若しくは資器材の変更を指示することがある。
4. 施工前に必ず現場状況を把握し、使用者に対して事前説明を十分行い、混乱のない様に順次施工改良に努めること。
5. 対象物件の給水装置に対し、原則『水道メータ直結逆止弁付伸縮ボール止水栓』を取り付けること。
6. 私管分岐された公道止水栓とメータボックスとの間に宅内止水栓（第2止水栓）が残存している場合は、原則、撤去すること。
また、宅内止水栓を撤去しにくい場合は、本市と協議のうえ、施工すること。
宅内止水栓を撤去した場合は、『給水装置整備請求書』（以下請求書）の備考欄に「宅内止水栓撤去」と記入すること。
7. 給水装置整備対象物件の止水栓前後等に鉛管が残存している場合、鉛管を撤去し、ビニール管に取り替えることを基本とする。鉛管が残存する場合は、請求書の裏面に理由を明示すること。
8. 給水装置整備のため、第1止水栓を閉止して施工する際、一時的にでも断水する居住者に対し、必要な広報を行ったうえで工事を行うこと。
9. 給水装置整備後、給水管内を洗管し、メータ逆付けのない様に側面に表示されている矢印に従って水平に取り付けること。また、接続に使用するメータパッキンを新しいものに取り替え、よじれ等ができないように接続すること。

10. 水道メータ取付後、指針及びパイロットを点検し、異常（不進行、回転、不安定等）があれば、本市に連絡し指示を得ること。
11. メータ鉄蓋は雨水侵入を防ぐため、現場状況によっては周辺地面よりやや高めに設置し、メータボックスの切欠きの所にメータ装置が適切な高さに収まる様に高低調整を行い、切欠きの外側に泥止ゴムを設置すること。
12. 破損等で危険と判断される不良な公道止水栓ボックスは取り替えることを原則とする。
13. 直結止水栓より上流側で既設管と新設管との接合部分の写真（残存管確認）を必ず貼付すること。
14. 請求書に水道番号を記入し、使用材料欄の右側には、水道メータ番号も必ず記入すること。
15. 対象物件の隣家等（旧水道メータ装置が原則）から、給水装置整備の要望があれば、本市に要望物件の水道番号、もしくは水道メータ番号を連絡のうえ確認を取って施工すること。
16. 対象物件の中に空家、市住、県住、社宅、マンション等があれば、保留状態とし、施工しないこと。特殊な事情により、施工する必要がある場合は、本市に確認をとること。
17. 施工の所在を明らかにするため、水道メータボックスの蓋の裏に業者コードと施工年月を白色塗料で明示しておくこと。
18. 受託者は、舗装工事を伴う復旧の場合は、仮復旧（原則、加熱合材）を施した後、速やかに受注者に路面復旧手配書を提出し、沈下不陸等が生じないように現場管理を行うこと。
19. 受託者は、施工後に請求書を作成し、委託者職員の写真判定検査を受けること。
20. その他基本事項は、全て『明石市水道条例』、『明石市水道条例施行規程』及び関係法規に基づくものとする。また、委託者が指示した事項、並びに事前の細部協議のときに指示した事項を順守すること。
21. 本特記仕様書に特段の定めのないものについては、原則『明石市水道局 給水装置工事施行基準』によるものとする。

個人情報取扱特記事項

(基本的事項)

第1 受託者は、個人情報（特定個人情報を含む。以下同じ。）の保護の重要性を認識し、この契約による事務を実施するに当たっては、個人の権利利益を侵害することのないよう、個人情報の取扱いを適切に行わなければならない。

(収集の制限)

第2 受託者は、この契約による事務を行うために個人情報を収集するときは、事務の目的を達成するために必要な範囲内で、適法かつ公正な手段により行わなければならない。

(目的外利用・提供の制限)

第3 受託者は、委託者の指示がある場合を除き、この契約による事務に関して知ることのできた個人情報を契約の目的以外の目的に利用し、又は委託者の承諾なしに第三者に提供してはならない。

(漏えい、滅失及びき損の防止)

第4 受託者は、この契約による事務に関して知ることのできた個人情報について、個人情報の漏えい、滅失及びき損の防止その他の個人情報の適正な管理のために必要な措置を講じるよう努めなければならない。

(廃棄)

第5 受託者は、この契約による事務に関して知ることのできた個人情報について、保有する必要がなくなったときは、確実かつ速やかに廃棄し、又は消去しなければならない。

(秘密の保持)

第6 受託者は、この契約による事務に関して知ることのできた個人情報をみだりに他人に知らせてはならない。この契約を終了し、又は解除された後においても同様とする。

(持出しの禁止)

第7 受託者は、この契約による事務に関して知ることのできた個人情報を委託者の承諾なしに事業所内から持ち出してはならない。

(複写又は複製の禁止)

第8 受託者は、この契約による事務を処理するために委託者から引き渡された個人情報が記録された資料等を委託者の承諾なしに複写又は複製してはならない。

(事務従事者の明確化)

第9 受託者は、個人情報を取り扱う事務に従事する者を限定するとともに、従事者に制限があることを明確にしておかななければならない。

(事務従事者への監督及び教育)

第10 受託者は、その事務に従事している者に対して、在職中及び退職後においてもこの契約による事務に関して知ることができた個人情報をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用してはならないことなど、個人情報の保護について必要かつ適切な監督及び教育を行わなければならない。

(再委託の禁止)

第11 受託者は、委託者（再委託をする場合にあっては、最初の委託者をいう。次項において同じ。）の承諾した場合を除き、この契約による事務については、自ら行い第三者にその取扱いを委託してはならない。

(再委託に伴う措置)

第12 受託者は、委託者の承諾を得て再委託をしようとするときは、この契約と同等の内容の個人情報保護のための措置の内容を契約書等に明記するなどその安全確保の措置を明らかにしなければならない。

第13 再委託を受けた者は、この契約による事務の受託者とみなして、前2項の規定を適用する。

(資料等の返還等)

第14 受託者は、この契約による事務を処理するために、委託者から提供を受け、又は受託者自らが収集し、若しくは作成した個人情報が記録された資料等は、この契約完了後直ちに委託者に返還し、又は引き渡すものとする。

ただし、委託者が別に指示したときは当該方法によるものとする。

(報告及び立入調査)

第15 委託者は、契約による受託者の事務の執行に当たり、個人情報の取扱いその他の契約内容の遵守状況について、随時報告を求め、又は調査することができる。

(事故発生時における報告義務)

第16 受託者は、個人情報の漏えい事案その他この契約に違反する事態が生じ、若しくは生じるおそれのあることを知ったとき、又はこれに伴う損害（第三者への損害を含む。）が発生したときは、速やかに委託者に報告し、委託者の指示を受け、自己の責任において処理するものとする。

(契約解除及び損害賠償)

第17 委託者は、受託者がこの契約に違反していると認めたときは、契約の解除及び損害賠償を請求することができる。